

感染と抗菌薬 Vol.21 No.2 (2018 年 6 月 10 日発行)

特集：多剤耐性グラム陰性菌対策を見直す

—『薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン』に向けて

- ・多剤耐性グラム陰性菌対策としての臨床医の役割
 - 『薬剤耐性 (AMR) 対策アクションプラン』を受けて
 - 日馬由貴 他
- ・多剤耐性グラム陰性菌の現状
 - 世界と日本の薬剤耐性動向を俯瞰する
 - 金子幸弘
- ・多剤耐性グラム陰性菌における抗菌薬適正使用
 - 1) 多剤耐性緑膿菌 (MDRP) 賀来敬仁
 - 2) 多剤耐性アシネトバクター (MDRA) 高田 徹
 - 3) 基質特性拡張型βラクタマーゼ (ESBL) 産生菌
 - 吉川晃司

- 4) カルバペネム耐性腸内細菌科細菌 (CRE) ・
カルバペネマーゼ産生腸内細菌科細菌 (CPE)

井口光孝 他

- ・患者別の実践手引き グラム陰性菌感染症のマネジメント
 - 病態・治療・予防まで
 - 1) 術後患者 古賀陸人 他
 - 2) 血液疾患患者 小倉 翔 他
 - 3) 固形癌患者 大串大輔
 - 4) ICU 患者 吉田英樹 他
 - 5) 小児患者 堀越裕歩

●院内における Antifungal Stewardship (AFS) への取り組み

掛屋 弘 他

●随感

- ・思い出ずるままに～医学人生模様 (63) 松本慶蔵

感染と抗菌薬 Vol.21 No.3 (2018 年 9 月 10 日発行)

特集：呼吸器領域の抗菌薬の使い方

—最新エビデンスから導く基本と応用

- ・呼吸器領域における抗菌薬の使い方
 - 1) βラクタム系薬—ペニシリン系薬・セフェム系薬・
カルバペネム系薬 三木 誠
 - 2) ニューキノロン系薬 今村圭文
 - 3) マクロライド系薬 石井 誠
 - 4) 抗 MRSA 薬—グリコペプチド系薬・オキサゾリジノン
系薬・アミノグリコシド系薬 田中 悠 他
- ・慢性呼吸器症状における抗菌薬の使い方
 - 1) 百日咳
 - 流行・耐性動向と診断・治療の最前線 野上裕子
 - 2) マイコプラズマ肺炎
 - 流行・耐性動向と診断・治療の最前線 成田光生

- 3) 肺結核—検査と治療のピットフォールを踏まえて

鈴木克洋

- 4) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の急性増悪

—ガイドラインを踏まえたマクロライド系薬の役割

山谷睦雄

・呼吸器領域のための抗真菌薬の使い方

- 1) 肺アスペルギルス症
 - 非結核性抗酸菌 (NTM) 症との重複感染を中心に
 - 佐々木結花
- 2) 肺カンジダ症
 - 菌種同定のポイントを含めて 樽本憲人
- ・臨床医の知っておくべき世界の呼吸器感染症と
その対策 高崎 仁

●随感

- ・思い出ずるままに～医学人生模様 (64) 松本慶蔵

感染と抗菌薬 Vol.21 No.4 (2018 年 12 月 10 日発行)

特集：ブレイクポイントの臨床応用

—3 つの基準の上手な使いこなし方

- ・臨床応用のためのブレイクポイントの考え方
 - 3 つの基準 (国内・CLSI・EUCAST) の比較と使いこなし方
 - 館田一博 他
- ・系統別 ブレイクポイントの変化動向と臨床応用のポイント
 - 1) ペニシリン系薬 小泉祐介 他
 - 2) セフェム系薬 比嘉 太
 - 3) ニューキノロン系薬 吉田耕一郎
 - 4) カルバペネム系薬 平松和史

・ブレイクポイントを活用した日常診療の用法・用量設定

- 1) 肺炎 笠原 敬
- 2) 腎盂腎炎・膀胱炎 安田 満
- ・抗真菌薬ブレイクポイントを考える—感受性動向・検査法
の現状から臨床応用のポイントまで 阿部雅広 他
- ・Topic 新規抗インフルエンザ薬『バロキサビル』の展望
 - 最新のインフルエンザ動向を踏まえて 渡辺 彰

●口腔咽頭カンジダ症治療の新たな選択肢

- ・第 2 回 口腔カンジダ症の治療 上川善昭

●AID Stewardship と個別支援から見た AFS 実践に向けた取り組み

- がん・感染症センターにおける活動例— 関谷紀貴

●随感

- ・思い出ずるままに～医学人生模様 (65) 松本慶蔵